

岡山県障害者（児）施設サービス自主評価結果（公表用）

施 設 名：ワークスくらよし

施設所在地：鳥取県倉吉市関金町関金宿2710番地1

施 設 種 別：就労継続支援B型

運 営 主 体：社会福祉法人 慶光会

施 設 長 名：北野 正樹

評 価 月 日：令和8年3月16日

評価項目（中項目）	評価結果
I-1 理念・基本方針	評価：A 年度当初の全体職員会議で職員に対して周知している。また、外部へはホームページ・パンフレット等も活用している。また、新入職員へは入職時に説明・研修にて周知している。
I-2 計画策定	評価：A 法人の基本方針を基に事業所計画を策定している。 全職員会議にて法人としての方針を述べ、各事業所の支援員会議にて管理者より目標や課題について伝えている。実施状況の把握や見直しを定期的に行っている。
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	評価：A 管理者の役割や責任は職務分掌表を用いて周知している。管理者は適宜、事業所内や事業所間、部会との調整等、必要な助言を行った。
II-1 経営状況の把握	評価：B 経営状況は毎月の管理者会議にて共有・把握している。地域のニーズや事業所に求められている役割については把握できておらず、情報収集が課題となっている。
II-2 人材の確保・養成	評価：B 人事担当を中心に、より安定的な人材確保に向けて、求人活動等を行っている。働きやすい職場づくりのため、取り組みを行っている。 職員へは外部研修に積極的に参加するよう促した。
II-3 地域との交流と連携	評価：A 地域の祭りへの参加や地域の方を招いて交流会を行うなど、できる範囲での地域交流を行った。

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	評価：B 支援員会議の中で人権学習を行い、虐待に対しての意識を高めた。また外部研修に参加し個々の職員が参加し意識を高めた。 全職員が人権擁護、虐待防止に関するセルフチェックを行い、その結果を基に日々の実践の振り返りを行い、職員に結果をフィードバックした。利用者満足度に関する調査は行っていない。
Ⅲ-2 サービスの質の確保	評価：B 毎月ケース会議を開催し、支援について課題と取り組みについて周知を行った。記録については不十分な部分があるため記録に残していく。
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	評価：A サービス利用開始時には契約書、重要事項説明書等の資料を提示し、分かりやすく丁寧な説明を行った。見学・体験等の希望にも応じている。
Ⅳ-1 利用者に応じた個別支援プログラム	評価：A 個別支援計画は本人・家族の要望を確認し、支援の目標・方法・期間を定め、サービス開始前に説明を行っている。
Ⅳ-2 日常生活支援サービス	日中活動事業所のため、非該当。
Ⅴ-1 生活環境の整備	日中活動事業所のため、非該当。
Ⅵ-1 緊急時の対応	評価：A 法人内研修にて災害時BCP、感染症対応BCPの研修を行った。有事の際は各BCPに沿って行動できるよう整備された。 年2回の火災・災害避難訓練を行い、消防署への報告を行った。救急蘇生研修は年1回実施した。
Ⅶ-1 就労意欲の醸成	評価：A 安定した作業参加と作業効率の向上に努めた。利用者へ就労に関する学習会等を行い、社会的マナーの習得や就労意欲の向上に取り組んだ。

* 着眼点の項目等を参考に、具体的な実施（達成）の状況や、未実施の場合はその理由など評価における根拠とともに、今後の改善計画（方針）なども記載してください。

* Ⅶ-1 就労意欲の醸成」欄は、授産施設のみが該当します。